

研究室名	植物化学研究室、先端機器分析センター
------	--------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

題名	Cytokinins affect the akinete-germination stage of a terrestrial filamentous cyanobacterium, Nostoc sp. HK-01
掲載雑誌	Plant Growth Regulation: 92, pages273–282
著者	Shunta Kimura, Masatoshi Nakajima, <u>Emi Yumoto</u> , <u>Koji Miyamoto</u> , <u>Hisakazu Yamane</u> , Midori Ong, Kaori Tomita-Yokotani, Tadao Asami (卒研生または大学院生には※、本学教職員、研究員にはアンダーライン)
概要	陸棲ラン藻であるNostoc sp. HK-01は乾燥条件において休眠細胞を作り出すことにより、強い乾燥耐性を示す。本研究では、Nostoc sp. HK-01に内生のサイトカイニンが存在すること、休眠細胞の発芽がサイトカイニンの添加により誘導されることを見出した。このことから、Nostoc sp. HK-01の休眠と発芽の制御にサイトカイニンが関与している可能性を示した。本研究により、ラン藻類においても植物ホルモンであるサイトカイニンが生理活性を持っていることが明らかになった。植物化学研究室および先端機器分析センターでは、Nostoc sp. HK-01中のサイトカイニンの定量を行った。